

第102回理事会/第36回通常総会を開催

平成20年3月14日、社団法人電池工業会第102回理事会/第36回通常総会が機械振興会館で開催された。

定款にもとづき本間充会長（三洋電機株式会社取締役副社長執行役員）が議長となり、第1号議案及び第2号議案の報告がなされた。続いて年度決算終了後、第3号議案から第7号議案までが審議され、提出された議案はすべて可決承認された。報告事項についても確認承認された。

1. 第1号議案 平成19年度事業報告(案)

各部部长及び各部部长事務局から、配布資料に基づき平成19年度事業報告の説明が行われた。

2. 第2号議案 平成19年度収支決算見通し報告(案)

事務局から、配布資料に基づき平成19年度収支決算見通しの説明がされた。収入の部については、予算額4億9,315万円に対し、見通し額4億9,482万円となり167万円の増収となる。

支出の部については、予算額3億8,083万円に対し、見通し額3億5,349万円で、マイナス2,734万円となる。内訳は、本会計はマイナス634万円、特別会計はマイナス2,100万円となり、この結果、当期収支差額は3,078万円のプラスで、前期繰越収支差額と合わせて次期繰越収支差額は1億4,133万円で、内訳は本会計分9,954万円、特別会計（蓄電池設備認定・講習事業、一次電池プライマリープロジェクト事業及び小形二次海外標準化事業）4,180万円となる旨報告がなされた。



3. 第3号議案 平成20年度事業計画(案)

各部部长及び各部部长事務局から、配布資料に基づき平成20年度事業計画の説明があり、審議の結果第3号議案は事務局の原案どおり可決承認された。

4. 第4号議案 平成20年度特別会計予算設置の件

事務局から、配布資料に基づき平成20年度特別会計設置の説明がされ、審議の結果第4号議案は原案どおり可決承認された。

5. 第5号議案 平成20年度収支予算（案）

事務局から、配布資料に基づき平成20年度収支予算（案）の説明があった。収入の部については、当期収入合計を4億582万円、前期繰越収支差額を1億4,133万円、合計5億4,716万円を見込んだ。

支出の部については、事業費1億5,952万円、内特別会計（蓄電池設備認定・講習事業）6,211万円、特別会計（その他）9,692万円。部会活動費1億290万円、一般管理費を1億5,447万円、これに予備費200万円を合わせて当期支出合計を4億1,889万円とした。

これにより当期収支差額と前期繰越収支差額を合わせて、次期繰越収支差額は1億2,826万円と見込ん

だ旨説明があった。

以上の説明に対し、審議の結果第5号議案は原案どおり可決承認された。

6. 第6号議案 役員選任の件

杉野専務理事より配布資料に基づき、近藤理事および佐々木理事より理事辞任届が提出されたため、後任理事の選任のために事務局原案の説明がされ、審議の結果、第6号議案は事務局の原案どおり下記のように可決承認された。

理事	松下電池工業株式会社 (任期：平成20年3月14日～平成21年3月末日)	取締役社長 野口 直人氏
----	---	--------------

理事	セイコーインスツ株式会社 マイクロエネルギー事業部 (任期：平成20年3月14日～平成21年3月末日)	事業部長 加藤 祐一氏
----	---	-------------

7. 第7号議案 会員入会の件

杉野専務理事から、配布資料に基づき賛助会員の入会申請について説明した。審議の結果、下記の賛助会員が4月1日よりの入会することが可決承認された。

会社名および住所	代表者の役職および氏名	事業内容
株式会社 リアル 東京都大田区大森南5-4-19	代表取締役 林 實	アルミニウムドロス、アルミスクラップ、ダイカスト用合金地金、亜鉛ドロス、亜鉛再生魂の購買および販売

これにより、平成20年4月1日現在の会員数は以下の通りである。

正会員	16社
賛助会員	64社
合計	80社

8. 報告事項

和仁事務局長から、配布資料に基づき報告事項の説明があった。

(1) 会員代表者の交替

(正会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
松下電池工業株式会社	野口 直人	近藤 正嗣	平成20.02.28
セイコーインスツル株式会社 マイクロエナジー事業部	加藤 祐一	佐々木 毅	平成20.03.01

(賛助会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
田村産業株式会社	岡田 篤	田村 寛一	平成20.03.03
ダイヤセルテック株式会社	高見 元晴	横尾 徹雄	平成20.03.05

(2) 登録会員会社名および代表者の変更

(登録会員名および代表者の変更)

新会員名	新会員代表者	旧会員名	旧会員代表者	変更年月日
東燃機能膜合同会社	白石 重夫	東燃化学那須株式会社	石山 順也	平成19.11.01

(3) 平成19年度の事務局職員の異動

転入者6名と転出者3名の紹介がなされた。

以上。

懐中電灯は時代とともに改良され現在の形となりましたが、懐中電灯の変遷を部品毎に記述すると次のようになります。

(1) パイプ (胴体)

耐久性、強度、導電性、そして外観と、それぞれを常に満足させながら次のような改善、改良が行われてきました。

まず、塗装品の耐食性能を向上させたものとして黄銅製のパイプが開発されました。さらに続いて、メッキ技術の向上と鉄素材の改良で、加工性に優れた鉄素材にクロームメッキを施したパイプが開発されました。昭和34年ころからは、価格的にも安価で懐中電灯の外観に最適な樹脂積層板を使用したパイプが使われるようになり、昭和50年ころからは、外観形状や色彩の自由度が得やすい樹脂成型パイプも開発され使われるようになりました。

(2) 反射鏡

反射効率の向上と、正確な放物曲面の改善、改良が主に行なわれました。

当初は、プレス加工性の良いアルミニウム板が使用され、反射鏡面の表面処理方法としては、苛性ソーダ処理、化学研磨処理、羽布研磨処理などが採用されました。

昭和38年ころからは、反射鏡面の加工性に優れた樹脂成型加工品とアルミ真空蒸着技術の双方を採用して作製し、反射効率90%以上という飛躍的な性能向上が達成できるようになりました。

(3) レンズ

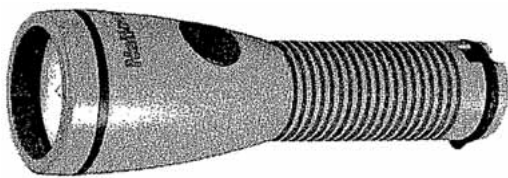
当初はガラス製がレンズの主流でしたが、衝撃強度や加工性に問題があり、昭和35年ころからは、透明樹脂成型品のレンズが使われるようになりました。

(4) 電球

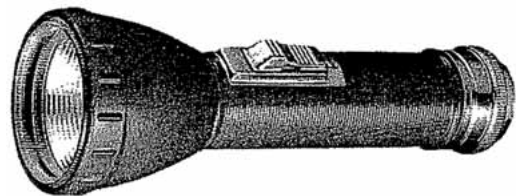
昭和40年後半、マンガン電池の高容量化に伴い、消費電流の多い明るい豆電球が採用されるようになりました。

当初は真空球のみであった電球も、さらに多い電流をフィラメントに流せるもの、フィラメントの輝度を増加させたりできる不活性ガス封入タイプのものなどが登場しました。昭和50年後半からは、大電流に適したアルカリ乾電池の普及に伴い、クリプトン球、キセノン球、ハロゲン球、を採用したさらに明るい懐中電灯が商品化されるようになりました。

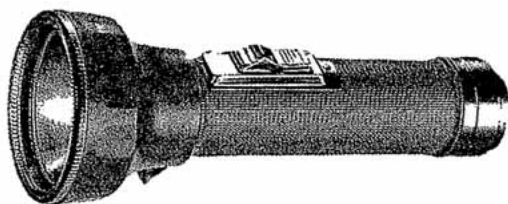
さらに最近では、消費電流が小さく耐用年数が長いLEDも、光源として使用されるようになっていきます。



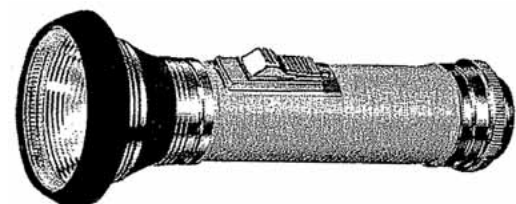
クセノンライト、単1乾電池2個用



スモールカラー、単2乾電池2個用



カラーライト、単1乾電池2個用



スモールカラー、単2乾電池2個用

図1、懐中電灯の種類

平成20年4月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	4日(金)	広報ワーキンググループ	ホームページ改定の検討。
	10日(木)	広報総合委員会	ホームページ改定、関西でんちフェスタ、電池PRキャンペーン、バッテリー賞、等の検討。
	16日(水)	広報ワーキンググループ	ホームページ改定の検討、電池PRキャンペーンの検討、関西でんちフェスタの検討。
	23日(水)	T14回JEA蓄電池設備認定委員会幹事会	蓄電池設備の型式認定案件21件を審議し、合格と判定した。また、直交変換装置を有する蓄電池設備の認定に関する審議を行った。
二次電池部会	2日(水)	自動車用電池リサイクル特別委員会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討。
	3日(木)	資材委員会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討。
	9日(水)	電気車鉛分科会	SBA改正審議他。
	11日(金)	需要予測分科会	実績集計。
	11日(金)	自動車用鉛分科会	安全啓発推進審議他。
	15日(火)	合同自動車用電池委員会	JIS改正の審議。
	15日(火)	資材分科会	共同金型等効率的運用の検討。
	16日(水)	据置鉛分科会	SBA改正検討審議他。
	17日(木)	小形鉛分科会	JIS改正のフォロー審議他。
	17日(木)	電気車統計分科会	統計数値の確認。
	17日(木)	産業用電池リサイクル委員会・電気車用電池リサイクル分科会	産業用電池リサイクルスキームの検討、フォークリフト用電池リサイクルスキームの検討。
	18日(金)	充電器分科会	JISC4402「浮動充電用サイリスタ整流装置」2004年版の改正審議、他。
	24日(木)	産業用電池技術サービス分科会	19年度活動報告・20年度活動計画の見直しと確認、蓄電池設備の点検・整備に必要な法的資格の検討、蓄電池設備講習テキストの次年度改定検討、他。
	25日(金)	EV用鉛分科会	EV用電池情報、他。
	25日(金)	二次電池部会	JIS改正の審議。
小形二次電池部会	4日(金)	国際電池規格委員会(Sub-WG)	米国電話協会規格関連審議。
	4日(金)	国際電池規格委員会(Sub-WG)	中国規格関連審議。
	4日(金)	技術特別委員会	電安法関連審議。
	8日(火)	国際電池規格委員会(Sub-WG)	米国安全規格検討。
	10日(木)	国際電池規格委員会	各Sub-WG報告(IEEE規格、アジア関係、米国安全規格)IEC審議。
	11日(金)	国際電池規格委員会(国際電話会議)	米国電話協会電話会議、IEEE電話会議。
	11日(金)	技術特別委員会	電安法関連審議。
	18日(金)	技術特別委員会	電安法関連審議。
	21日(月)	世界小形二次電池規制フォーラム準備国際電話会議	議事、講演者検討。
	22日(火)	再資源化委員会	H20年度の活動計画検討、廃棄電池調査計画の立案。
	23日(水)	国際電池規格委員会(Sub-WG)	IEEE関連Sub-WG:コメント総括表確認、対応審議。
	23日(水)	海外環境委員会	最近の環境規制についての情報確認。
	23日(水)	Li安全技術委員会	Li二次安全技術審議。
	24日(木)	技術特別委員会	電安法関連審議。
	25日(金)	業務委員会	3月度販売状況の検討及び動態確認。
	25日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	IEC規格審議、ニッケル水素輸送課題報告。
	一次電池部会	4日(金)	器具委員会
11日(金)		IEC小委員会	IEC/TC35会議(5月スイス)に向けての回答原案協議。
11日(金)		JIS小委員会	JIS C 8500分科会修正案協議。
18日(金)		資材委員会	主要資材の国際市場動向の調査。
21日(月)		臨時技術委員会	使用推奨期限自主基準策定検討。
21日(月)		リチウムワーキンググループ	リチウム一次電池の国際輸送対応、EU新電池指令対応。
23~24日		環境対応委員会	EU新電池指令、REACH等欧州規制対応、リサイクラー視察。

2月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2008年2月）

単位：数量—千個、金額—百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	459,955	71,739	100%	123%	863,482	137,784	97%	123%
一次電池計	307,457	9,680	94%	95%	559,340	17,749	89%	91%
マンガン乾電池	31,491	506	61%	75%	54,292	918	61%	73%
アルカリ乾電池計	103,874	4,127	118%	106%	178,065	7,076	107%	96%
単 三	64,484	2,178	123%	107%	110,233	3,824	112%	101%
単 四	25,714	913	103%	93%	44,797	1,570	96%	86%
その他	13,676	1,036	127%	120%	23,035	1,682	102%	95%
酸化銀電池	61,099	761	95%	96%	107,654	1,348	81%	84%
リチウム電池	100,160	3,786	95%	95%	199,242	7,541	93%	95%
その他の乾電池	10,833	500	67%	62%	20,087	866	76%	64%
二次電池計	152,498	62,059	115%	129%	304,142	120,035	119%	130%
鉛電池計	3,141	17,776	99%	143%	6,185	34,067	101%	145%
自動車用	2,180	10,451	102%	167%	4,326	20,825	103%	168%
二輪用	262	693	77%	100%	508	1,405	82%	110%
小形制御弁式	398	911	97%	111%	806	1,784	98%	110%
その他	301	5,721	111%	124%	545	10,053	111%	124%
アルカリ電池計	49,100	14,319	103%	122%	103,393	28,474	117%	129%
完全密閉式	21,056	3,493	93%	114%	41,140	6,749	100%	113%
ニッケル水素	28,033	10,641	114%	127%	62,232	21,312	133%	137%
その他のアルカリ電池	11	185	85%	63%	21	413	84%	77%
リチウムイオン電池	100,257	29,964	122%	125%	194,564	57,494	120%	123%

2月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2008年2月）

単位：数量－千個、金額－百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	270,299	35,190	107%	115%	479,818	66,568	99%	115%
一次電池計	135,607	2,782	104%	92%	229,269	5,026	91%	86%
マンガン	20,711	258	60%	66%	37,529	506	65%	78%
アルカリ	30,099	454	179%	123%	46,375	752	125%	101%
酸化銀	34,462	429	112%	97%	54,371	713	84%	78%
リチウム	48,863	1,603	107%	92%	86,716	2,954	98%	85%
空気亜鉛	956	20	48%	66%	3,135	62	103%	132%
その他の一次	517	19	44%	41%	1,143	39	80%	62%
二次電池計	134,691	32,408	110%	117%	250,549	61,542	108%	118%
鉛蓄電池	198	991	108%	115%	421	1,868	122%	127%
ニカド	20,439	2,254	106%	117%	36,128	4,172	111%	127%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	0%	0%
ニッケル水素	15,731	4,966	136%	151%	31,553	9,430	142%	155%
リチウムイオン	87,085	21,945	116%	115%	163,172	41,820	115%	115%
その他の二次	11,238	2,253	66%	94%	19,275	4,252	55%	88%
全電池合計（輸 入）	71,747	7,236	127%	97%	157,014	17,197	125%	116%
一次電池計	64,619	1,105	133%	97%	139,198	2,241	129%	95%
マンガン	6,960	128	750%	259%	22,551	285	230%	205%
アルカリ	48,650	614	126%	116%	97,931	1,230	123%	115%
酸化銀	276	6	127%	79%	705	14	292%	178%
リチウム	7,249	294	104%	72%	15,098	560	100%	61%
空気亜鉛	1,032	30	117%	89%	1,436	44	77%	65%
その他の一次	452	33	42%	30%	1,477	108	81%	64%
二次電池計	7,128	6,130	90%	97%	17,816	14,955	100%	120%
鉛蓄電池	585	2,551	82%	123%	1,435	6,328	99%	154%
ニカド	997	320	85%	105%	2,487	734	79%	96%
ニッケル鉄	1	0	55%	8%	133	31	1257%	124%
その他の二次	5,545	3,259	92%	83%	13,761	7,863	105%	103%